

番号	6 — 15	申 請 者	看護師 山内 由依
【審査申請課題】 神経難病病棟で働く看護師の腰痛対策～腰痛体操を取り入れて～			
【審査課題の概要】 神経難病病棟である南1病棟では、日常生活すべてにおいて腰部に負担のかかる介助が必要な患者が大半を占めるため、介助する看護師の多くが腰痛を訴える。腰痛予防ベルトを使用したり、介助作業時の環境や姿勢の改善に努めたりしていても、神経難病患者の特性である筋委縮による拘縮や変形により介助作業に個別性を求められることから、介助者側の姿勢改善やボディメカニクスを意識した動作だけでは腰痛予防は困難であるといえる。そのため、南1病棟で働く看護師の腰痛の現状を調査し、先行研究で立証されている効果的な腰痛体操を検討し実践することで腰痛改善の評価を行う。			
審査結果	承認 (令和7年2月28日)		